



# 平成30年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月14日

上場会社名 株式会社ロゼッタ

上場取引所 東

コード番号 6182 URL <http://www.rozetta.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 五石 順一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行社長 COO 兼 グループ 管理本部長 (氏名) 誠谷 隆志

TEL 03-6685-9570

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年2月期第1四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年5月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第1四半期	533	17.9	37	△47.5	37	△47.2	17	△62.4
29年2月期第1四半期	452	12.0	71	44.5	71	45.9	46	17.2

(注) 包括利益 30年2月期第1四半期 17百万円 (△62.4%) 29年2月期第1四半期 47百万円 (20.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第1四半期	1.77	1.68
29年2月期第1四半期	5.10	4.65

(注) 当社は平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益額を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第1四半期	2,832	2,157	76.1	216.38
29年2月期	2,850	2,179	76.5	219.05

(参考) 自己資本 30年2月期第1四半期 2,156百万円 29年2月期 2,179百万円

(注) 当社は平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1株当たり純資産額を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	0.00	—	4.50	4.50
30年2月期	—				
30年2月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,105	29.8	88	△11.3	88	△11.3	47	△20.3	4.72
通期	2,420	26.8	330	46.0	330	40.8	200	17.8	20.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 株式会社海外放送センター  
(注) 詳細は、添付資料P. 5 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料P. 5 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期1Q	9,967,860 株	29年2月期	9,947,860 株
② 期末自己株式数	30年2月期1Q	130 株	29年2月期	130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期1Q	9,951,085 株	29年2月期1Q	9,172,310 株

(注) 当社は平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1 四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1 四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等)	6
(1 株当たり情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1 四半期連結累計期間（平成29年3月1日～平成29年5月31日）につきましては、「ニューラルネットワーク」を利用した機械翻訳技術の革新に向けて、先行投資を拡大し一層の開発強化に取り組みました。

当第1 四半期連結累計期間における当社グループの売上高は533,251千円（前年同期比17.9%増）、営業利益は37,376千円（同47.5%減）、経常利益は37,598千円（同47.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,614千円（同62.4%減）となりました。

会社計画に対しては、売上高の計画比100.1%、営業利益の計画比155.7%、経常利益の計画比158.3%、親会社株主に帰属する四半期純利益の計画比218.5%と順調に進捗しております。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

MT事業におきましては、平成29年1月にリリースしました「テイラーメイド自動翻訳T-400」の販売が好調に推移し、売上高は74,182千円（前年同期比19.9%増）となりました。一方、前期春から開発継続中のNMT(Neural Machine Translation:ニューラル翻訳)の先行投資によりセグメント利益は5,465千円（前年同期比40.4%減）となりました。

GLOZE事業、通訳・翻訳事業におきましては、いずれも前年に大口売上があったため、GLOZE事業の売上高は114,298千円（7.2%減）、セグメント利益は14,014千円（47.6%減）、通訳・翻訳事業の売上高は219,120千円（4.7%減）、セグメント利益は28,269千円（34.1%減）となりました。

クラウドソーシング事業におきましては、法人売上が堅調に推移し、売上高は87,754千円、セグメント利益は4,966千円となりました。当セグメントは平成28年9月より加わった為、前年度第1 四半期との比較は行っておりません。

企業研修事業におきましては、法人の継続案件が増え、売上高は56,265千円（9.4%増）、セグメント利益は9,185千円（192.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第1 四半期連結会計期間末における流動資産は1,298,197千円となり、前連結会計年度末に比べ31,449千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が8,696千円減少、受取手形及び売掛金が28,833千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ14,146千円増加して1,534,626千円となりました。これは主に、有形固定資産が14,718千円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1 四半期連結会計期間末における流動負債は前連結会計年度末に比べ31,533千円増加して487,751千円となりました。これは主に前受金が21,609千円増加したこと、賞与引当金が22,827千円増加したこと、未払法人税等が9,217千円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ26,581千円減少して187,853千円となりました。これは長期借入金の返済によるものであります。

## (純資産)

当第1 四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末に比べ22,254千円減少して2,157,220千円となりました。これは主に、配当により利益剰余金が44,764千円減少したこと、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が17,614千円増加したことによるものであります。

また、当第1 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社グローヴァーは当社の連結子会社であった株式会社海外放送センターを吸収合併しました。これにより株式会社海外放送センターが消滅したため、株式会社海外放送センターの資本金であった20,000千円について、その他資本剰余金といたしました。これによる純資産合計への影響はありません。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点での業績予想につきましては、平成29年4月14日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,005,726	997,029
受取手形及び売掛金	223,260	194,426
たな卸資産	23,308	21,049
その他	79,962	88,801
貸倒引当金	△2,610	△3,109
流動資産合計	1,329,647	1,298,197
固定資産		
有形固定資産	78,745	93,464
無形固定資産		
のれん	1,238,677	1,221,721
ソフトウェア	128,281	124,026
その他	56,400	75,574
無形固定資産合計	1,423,359	1,421,323
投資その他の資産	18,374	19,839
固定資産合計	1,520,479	1,534,626
資産合計	2,850,127	2,832,824
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	84,226	71,625
短期借入金	4,240	-
1年内返済予定の長期借入金	108,324	106,824
未払法人税等	37,556	28,339
賞与引当金	15,862	38,690
その他	206,007	242,271
流動負債合計	456,218	487,751
固定負債		
長期借入金	214,434	187,853
固定負債合計	214,434	187,853
負債合計	670,652	675,604
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	221,547	223,995
資本剰余金	1,201,735	1,204,183
利益剰余金	755,974	728,823
自己株式	△151	△151
株主資本合計	2,179,106	2,156,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	-
その他の包括利益累計額合計	-	-
新株予約権	369	369
純資産合計	2,179,475	2,157,220
負債純資産合計	2,850,127	2,832,824

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3月 1日 至 平成28年 5月 31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3月 1日 至 平成29年 5月 31日)
売上高	452,249	533,251
売上原価	201,286	228,420
売上総利益	250,962	304,831
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	61,434	73,989
賞与引当金繰入額	12,352	17,697
その他	105,916	175,768
販売費及び一般管理費合計	179,703	267,455
営業利益	71,259	37,376
営業外収益		
受取利息	7	2
その他	157	1,086
営業外収益合計	165	1,089
営業外費用		
支払利息	85	853
為替差損	55	9
その他	109	3
営業外費用合計	250	867
経常利益	71,173	37,598
特別損失		
事務所移転費用	1,520	-
その他	135	-
特別損失合計	1,655	-
税金等調整前四半期純利益	69,517	37,598
法人税等	22,727	19,983
四半期純利益	46,789	17,614
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,789	17,614

(四半期連結包括利益計算書)

(第1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3月 1日 至 平成28年 5月 31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3月 1日 至 平成29年 5月 31日)
四半期純利益	46,789	17,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,158	-
その他の包括利益合計	1,158	-
四半期包括利益	47,948	17,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,948	17,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1 四半期連結会計期間において、当社の連結子会社である株式会社グローヴァは当社の連結子会社であった株式会社海外放送センターを吸収合併しました。これにより株式会社海外放送センターが消滅したため、当第1 四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

## (セグメント情報)

## I 前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3 月 1 日 至 平成28年 5 月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	GLOZE事業	翻訳・通訳事業	企業研修事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	54,554	123,152	223,130	51,411	452,249	-	452,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,300	-	6,909	-	14,209	△14,209	-
計	61,854	123,152	230,040	51,411	466,459	△14,209	452,249
セグメント利益	9,177	26,766	42,924	3,144	82,013	△10,754	71,259

(注) 1. セグメント利益の調整額△10,754千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3 月 1 日 至 平成29年 5 月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	MT事業	GLOZE事業	クラウド ソーシング 事業	翻訳・通訳 事業	企業研修 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	64,282	114,298	82,018	216,469	56,182	533,251	-	533,251
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	9,900	-	5,736	2,650	82	18,368	△18,368	
計	74,182	114,298	87,754	219,120	56,265	551,619	△18,368	533,251
セグメント利益	5,465	14,014	4,966	28,269	9,185	61,899	△24,523	37,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△24,525千円には、セグメント間取引消去、報告セグメントに帰属しないのれんの償却額、及び全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## (1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成28年 3 月 1 日 至 平成28年 5 月 31 日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成29年 3 月 1 日 至 平成29年 5 月 31 日)
(1) 1 株当たり四半期純利益金額	5.10円	1.77円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	46,789	17,614
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	46,789	17,614
普通株式の期中平均株式数	9,172,310	9,951,085
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額	4.65円	1.68円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数	897,150	548,943
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(注) 平成28年 9 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合をもって株式分割を行っております。そのため、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。